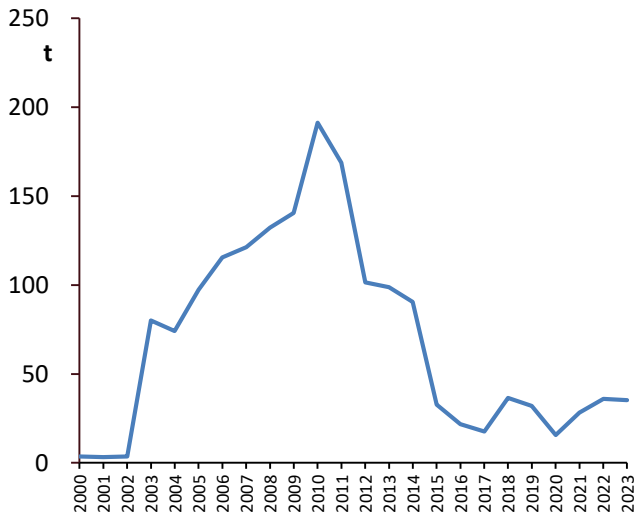


## 資源の動向 「低位・横ばい」



マナマコ漁獲量の年変化

(東京内湾:横浜市漁協, 横須賀市東部漁協横須賀支所の水揚げ計)

東京内湾(横浜市、横須賀市)のマナマコの漁獲量は2003年から2010年(191トン)まで増加したが、その後減少した。2015年以降は16~36トンの低水準であり、直近5年間では「低位・横ばい」で推移している。

2015年から一部の漁業協同組合では、禁漁による資源保護を行なっている。2020年以降は新型コロナウイルス感染症の影響で中国向け需要が減少した。

## 対象漁業

- 小型底びき網
- 刺し網
- 覗突き(みづき)
- 裸もぐり



## 生物学的特性

- 分布:北海道~九州  
砂泥域、岩礁域
- 移動:着底後は大きな移動はない
- 成長:生後3~4年で漁獲サイズ
- 産卵期:4~5月

